

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY神戸本校		公表日		2025年 2月 18日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・安全確保のため入口の鍵をかける事を徹底しています。事故に繋がらないよう物の配置を考慮整備しております。お子様が来所時には、スタッフ全員が入り口付近に集中せず全体を把握できるようにしています。	・教員は適切な数を揃えております。シンプルで落ち着いた環境を設定しています。 ・パーティションや区切られたお部屋がないため、机を置く位置や活動内容、時間を細かく共有工夫しお子様が快適に過ごせるよう環境設定を行っています。 ・事務仕事場所とカリキュラム場所が区切りがあるので、すぐに駆け付けられるよう職員同士で細かく共有を行っています。 ・柵で仕切りをしているが、開ける事ができる児童もいるため、チャイルドゲートを新しく購入しました。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・お休みが出る時と直ぐお待ちのかたにご連絡し、通していただけるようにしています。 ・指導員同士声の掛け合いや自分の視野に入る所で見守り、支援できるように心掛けています。	・トイレが室外にあるため、カリキュラムを行う職員以外にフリーで動ける職員を毎時間配置できるように調整しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・たくさんの情報が入らないように必要なものだけを出すようにしています。 ・事業所内で過ごす流れがある程度の決まりがあり、靴箱に靴を入れる・手を洗う・かばんを片付ける・ノートを出すといった一連の流れを自ら進んで行えるような環境づくりと職員の声かけを心掛けております。	・柵が壊れそうだと感じる時があり、開け方がわかっているお子様がいて危ないと感じたのでチャイルドゲートを新しく購入しました。 ・建物的に事業所の外にトイレがあるので不便。階段が多いと感じているのでお子様たちが安心してトイレに行けるよう事前の声掛けを行うようにしております。 トイレ、階段の件、トイレトレーニングの際お子様が言い出しにくい状況が生まれないようにトイレトレーニングが始まった時には保護者様に共有していただき、引き続きこまめに声掛けを行うようにしていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・日々清掃・消毒を徹底し、お子様が健康・安全に過ごすことができるように配慮しています。 ・営業後の清掃 埃がないよう日々気を付けています。	・お子様が活動中は安全面を考慮しドアを閉鎖できません。そのため帰園後細かく空気の入替えを行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	・トイレがない分おむつ替えの際、お友達から見えない空間で行っています。 ・事業所の作りから部屋を作ることは難しいが、カリキュラムでは情報が入りすぎないように机の向きを変えるなど工夫しております。	・トイレがない分おむつ替えの際、お友達から見えない空間で行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・月に2回振り返りの時間を持っています。 ・月に一度振り返り、翌月の目標を話す機会、聞く機会があります。 ・毎日、朝礼で進めていく業務確認と現状の確認をしています。	・細かくミーティングは行っておりますが、職員間での相違が生まれている時もあるので、今後サイクルの工夫や伝え方の工夫を今以上に細かく振り返りを行えるよう努めてまいります。		
	7	保護者様向け評価表により、保護者様等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・面談で伺った内容を共有して、このお子様に必要な療育を考えています。またお子様のできた事、これからの課題が今以上に共有できる機会を作っております。 ・細かくミーティングを開き共有しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・何か思う事、感じる事があれば児童発達管理責任者に共有し、チームとして動けるようにしています。 ・ミーティングを開き各自自己評価をする機会が多いので日々振り返りを行っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	現在は、ご利用者様・社内の二者評価をとっております。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・自分たちがしなければいけないことを把握できるので良いと感じています。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・個別支援計画の作成により保護者様も指導員もどのように取り組めばいいかわかりやすく、支援に取り組むことができています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・支援員みんなでアセスメント、モニタリングをして共有しています。 ・保護者様との面談を行い希望に沿った支援計画内容に変更しています。	時間帯、翌日公休日によってはカリキュラムの内容を分析しあえていない日もあるため、翌日公休日の場合は業務日報に記入を徹底するなど、今以上に日々の共有を意識してまいります。		

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・個別支援計画書の更新あたり、面談等で保護者様やお子様に対する現状や課題のすり合わせを行い、個別支援計画に落とし込み日々の支援につなげております。また、統一したアセスメントシートを使用しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・お子様の興味のあるものから始めています。 ・好きや興味がある事繰り返し行えるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・朝礼時細かく共有を行っております。日報でどの様に取り組んでいるかを確認しています。 ・職員間で個別・集団それぞれにおいてできるようになったことや現状の課題を共有し、カリキュラムの組み方に活かしております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・お子様1人1人に必要な項目を適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると感じます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・朝礼時細かく共有を行っております。日報でどの様に取り組んでいるかを確認しています。ホワイトボードに記載し全員で把握できるようにしています。	・出勤時間などにより朝礼に出れない時などは個々で考える事が多い為、支援に必要な内容が継続できるよう今以上に日々の共有を意識してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・朝礼時細かく共有を行っております。日報でどの様に取り組んでいるかを確認しています。 ・様々なことが経験できるよう細かく共有しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・確認して欲しい事があれば共有してプログラムに反映されていると思います。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		・出勤時間などにより朝礼に出れない時などは個々で考える事が多い為、支援に必要な内容が継続できるよう今以上に日々の共有を意識してまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・送迎時間で遅くなった時などは、次の日の朝礼時に細かく共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	・業務日誌に細かく残し共有しています。 ・日報に入力し、自分の中で振り返り共有しています。	
関係機関や	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	・児童発達支援管理責任者、指導員が行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者様との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のお子様・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者様と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・保護者様の方から希望される内容を踏まえてプログラムを組み立てています。 ・送迎時やお迎えにいらっしゃった時にカリキュラム内容をお伝えしたり、お会いすることが難しい保護者様には児童発達管理責任者が電話で対応しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
保護者様への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者様の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・面談があった時に児童発達管理責任者が状況を共有しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者様会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		・保護者様同士はあるが、きょうだい同士は開催していないのでニーズがあった場合は開催を検討していきたいと思っています。
	40	こどもや保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者様に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・話しやすい雰囲気を作ることや、その日のできたことをお伝えできるようにしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0			

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		・訓練は行っていますが、実際に自然災害があった時の危機感を持てるよう日々災害時を意識、想定できるよう努めてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		